



学校だより

令和7年度
7月号

〒617-0824 長岡京市天神4丁目5番1号

http://www.kyoto-be.ne.jp/nagaoka-jhs/cms/

TEL: 951-1171

FAX: 951-8427



なんのために学ぶのか ～社会科のテスト問題から～

校長 湯浅修一

4月に令和7年度がスタートして3か月が過ぎました。この間、中間テストや期末テスト、校外学習(修学旅行)や職場体験、部活動の大会やコンクールなど、多くの行事に対して本当に精一杯取り組もうとする皆さんの姿が見られました。あいさつや清掃活動等々、日常生活を見るにつけても、感動的なくらいの素敵な行動が日々見られます。

いよいよ1学期もラストスパートです。2学期につながる有意義な時間にしていきましょう。

さて、今回は、ある社会科のテストから、「学ぶ」ということについてお話したいと思います。

6 「歴史にたられればはいい」とはよく言われている。確かに「たられれば」は無意義である。所詮、「そうだったかもしれない」を想定したところで、歴史的事実は変わらない。過去の事実に対してさまざまな角度で分析をすることで、未来に「たられれば」を馳せられたとしても、だ。しかしながら、歴史的事象の中で「たられれば」を想定することは、我々の理解を確認し得る一つの方法でもある。この間、我々は戦国時代から江戸時代にかけての外交関係について、宗教と経済を軸にその変化を捉える学習をしてきた。もし、信長や秀吉、もしくは家康をはじめとする江戸幕府の違った、宗教もしくは経済、もしくはその両方に対する政策が史実と異なっていた場合、その後の歴史にどのような違いが起こったと考えられるか、具体的に述べなさい。なお、評価基準は以下に示した通りとする。(思×5)
※たられれば：～だったらや、～していれば、などと物事を仮定でとらえること。

(令和7年度 2年生1学期末社会科テストより 抜粋)

これは、2年生の社会科期末テストの一部です。とても長い「問い」ですね。そして、とても難しい問題です。私は、実施前に、すべての教科のテスト問題に目を通しますが、この問題の「問いの深さ」に驚きました。

「歴史に『たられれば』『もしも』はない」というのはよく言われる言葉です。たしかに、「史実において起きなかったこと」を考えても意味がないかもしれません。けれど、歴史において「あること」は起きたけれど、「そうではないこと」は起きなかったのはなぜだろうか?という理由について、思考をめぐらせるというのは、実は大変重要な「知性の使い方」ではないかと常々思っているからです。なぜかという、過去の「(起こってもよかったのに)起こらなかったこと」について考えるということは、私たちがこれからの未来について「起こるかもしれないこと」を想像するとき求められる思考と同じような「頭の使い方」になるのではないかと思うからです。

教科書で歴史の勉強をすると、「Aという出来事」があり、その後「Bという出来事」が起こった、そしてその結果「Cという出来事につながった」というふうに理解していきます。教科書では、まるで歴史は当然の流れのように並べられているけれども、本当にそうなのでしょうか。

太平洋戦争の後、日本と当時の敵国アメリカの関係が今のようになることを予想していた人がいたでしょうか。ソビエト連邦(現ロシア)が崩壊したり、ヨーロッパがEUとして統一されていくなかで予想していた人がいるでしょうか。

実は、私たちの世界で今起きている出来事の多くは、「まさかそんなことが起こるなんて!」と思っていたことにもかかわらず、それが現実になると、当然そうなるはずだったというようなことをみんなが言うのです。皆さんが教科書で勉強している歴史上の、どんな大きな出来事でも、それを前もって予想していた人はほとんどいなかったのです。

「未来の歴史」についてもまったく同じようなことが言えるのではないかと私は思います。

私たちの未来にどのような歴史が綴られていくのかは予測ができません。未来というのはいつも「未定」なのです。

歴史を振り返ると、たった一人の人間のちょっとしたこだわりや失敗や、なにげない行動が歴史を変えてしまうほどの大変動を引き起こしているケースがしばしば見られるのです。もっというとそれは教科書に載っているような人物だけではなく、名前の残っていない「誰か」が影響していることがたくさんあります。…ということは、これからの未来を変えることができるのは、これを読んでいる「あなた」かも知れないということです。

世界大学ランキングの3位(ちなみに東京大学は28位)になっているアメリカのハーバード大学(教育大学院)の motto(いちばん大事にされていること)は、「Learn to change the world(世界を変えるために学ぶ)」です。

決して「自分の能力を伸ばすために学ぶ」「お金持ちになるため、地位や名声を手に入れるために学ぶ」でもありません。「世界を変えるため」—もっというと「未来社会を変える(創る)ために学ぶ」とハーバード大は言っているのです。

社会科の勉強と言えば、教科書に載っている有名人物や用語、年号、地名等を覚えたりすることと考えている人がいるかもしれませんが(それも必要ですが)、そんな知識だけでは、未来について考えたり、未来を変える力にはなりません。学校で学んでいることが、激動・激変する先行き不透明な未来社会を変えたり、創造したりする「誰か」になっていくような、そんな「学び」を大事にしてほしいと願っています。



6月14日(土)に乙訓陸上大会が、21日(土)に山城陸上大会が共に山城総合運動公園陸上競技場にて開催されました。出場した生徒たちはみんな精一杯の力を発揮し、頑張っていました。それぞれの大会の成績上位者を紹介します。

◎乙訓陸上の結果

◇男子...	1年100m	4位	共通200m	1位
	共通800m	3位	・4位	
	共通1500m	2位	共通3000m	3位
	共通3000m	5位	・	・
	低学年4X100mR	4位	・	・
	共通4X100mR	4位	・	・
	共通四種競技	1位		
◇女子...	1年100m	2位	2年100m	2位
	3年100m	2位	・3位	
	共通200m	3位	・4位	
	1年800m	5位	共通800m	1位
	共通1500m	5位	・	・
	低学年4X100mR	4位	・	・
	共通4X100mR	1位	・	・
	共通走高跳	4位	・5位	
	共通走幅跳	1位	共通砲丸投	5位

◎山城陸上の結果

◇男子...	共通200m	1位
	共通1500m	5位
	共通四種競技	4位
◇女子...	共通800m	2位
	共通走幅跳	1位

※山城陸上6位入賞までが7月27、28日にたけびしスタジアム京都で開催される府大会に出場します。健闘を祈ります！



6月5日、1年生は校外学習で大阪府吹田市の万博記念公園に行きました。9月には現在開催されている大阪万博に行く予定をしていますので、今回の校外学習は9月の事前学習を兼ねての活動でした。大変暑い一日でしたが、楽しく学びに取り組めたようです。

6月26日、生徒会本部主催の乙訓大会壮行会を実施しました。各部活動の部長たちから、乙訓大会に向けて、または今後の活動に向けての決意の言葉が、力強く発せられました！



7月 主な行事



日	曜日	内容
3	木	薬物乱用防止教室
8	火	3年三者面談(16日まで)
9	水	選書会
12	土	乙訓大会(13日まで)
18	金	1学期終業式
19	土	山城水泳大会
21	月	長岡京市中学校吹奏楽部合同演奏会
24	木	山城大会(25日まで)
27	日	京都府大会(29日まで)

8月 主な行事



日	曜日	内容
6	水	京都府吹奏楽コンクール
10	日	学校閉鎖日(16日まで)
26	火	2学期始業式・あいさつ運動 3年生校内実力テスト

夏休み中の図書室の開室は 7月24日(木)、8月6日(水)、8月20日(水)の3日間です。

※行事予定は現時点のものであり変更の可能性があります。変更の際は都度お知らせいたします。